

活動計画書

法人名	特定非営利活動法人 アイサイトさいたま				
活動名	目が見えない人が言葉と指先で見えない初心者に教えるスマホ教室				
活動期間	令和6年8月1日 ~ 令和7年1月31日				
申請活動区分・分野	活動区分名	○ SDGs推進活動助成 ○ 自立促進活動助成			
	分野名	○ 人間	○ 豊かさ	地球	平和 ○ パートナースHIP

1. 申請する活動の目的

<200字程度> 申請する活動により解決を図る地域課題、社会課題

今では生活になくなくてはならないスマホの操作を習得する場がなく、使用をあきらめている多くの視覚障害者がいます。そのような人たちを対象にピアカウンセリングの要素も期待できる同じ視覚障害者の操作に熟達した講師が、操作法を教えるスマホ教室を行い、特に今では視覚障害者の大半を占め、デジタル社会の中で置き去りにされている中高年の中途失明者の社会参加と、QOLの向上を支援します。埼玉県内で身体障害者手帳を有し、情報障害が特性でもある視覚障害者は14,000人。この人々のスマホ使用率が一般に比べてかなり低い大きな理由は、視覚障害者は画面に表示される情報と機能のほぼすべてを、音声だけを頼りに操作するという特殊な操作を習得しなければならないことと、その特殊な操作法を教えられる、教えている人材が一般の指導者にはおらず、市中や販売店などで行われている教室も皆無だからです。

<200字程度> 上記の課題に対し、申請する活動が必要となる理由

既に同じ視覚障害者でスマホの操作に習熟し、各種のアプリを利活用している講師による視覚障碍初心者を対象にした音声と指の触覚だけによるマンツーマンの教室を行うことにより、埼玉県内の視覚障害者のスマホ使用が増え、外出や移動に不自由がある視覚障害者を支援する歩行支援や音声サポートアプリなども利活用できるようになれば、障碍の補完と、QOLの大きな向上にも必ずやつながると確信します。

2. 申請する活動の内容

<200字程度> 申請する活動の概要

この活動はスマホ未所有の視覚障害者を主対象に、操作に熟達した視覚障碍当事者講師が①電話を使う②メールやLINEを使う③ネット検索や各種アプリを使うなどを指導、未経験の視覚障害者に対してマンツーマンで操作方法を教え、スマホを利活用する視覚障害者を増やすことで、社会参加等が、スムーズにでき、自立、自分らしく充実した生活を送っていけるよう支援する活動です。【回ごとのカリキュラム】1回目 ジェスチャー操作の基本(電源のON/OFF、アプリの操作等)

2回目 SIRIを使用して、電話・メッセージ、各種検索等 3回目 使用した時の疑問点、便利なアプリの紹介等

※各回の間は受講者にスマホを貸出、復習及び練習していただきます。

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための実施体制、他団体等との連携

講師は長年視覚障害者に対するパソコンやスマホの指導に取り組んでこられている「特定非営利活動法人視覚障害者パソコンアシストネットワーク(略称:SPAN)」から派遣していただくとともに、晴眼のサポーターは、埼玉県内でこちらも長年活動されてきている視覚障害者へのパソコン指導ボランティアグループのけやきパソコンクラブからボランティア参加、ご協力いただきます。

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための助成金の活用方法

- ・視覚障害の当事者でスマホの操作に習熟するとともに、同じ視覚障害者に対して、的確かつわかりやすく指導ができる講師を招聘するために活用します。
- ・埼玉県内の晴眼サポーターを養成する観点でも活用します。・教室開講時のみならず、受講期間中は受講生にスマホを貸出、復習・練習ができるスマホを購入するために活用します。

3. 申請する活動の計画

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための事業計画

8月開催 ①8日、②22日、③29日 時間はいずれも13時30分～15時30分 ①電話を使う②メールやLINEを使う③ネット検索や各種アプリ操作

10月開催 ①3日、②10日、③24日 同上 ①電話を使う②メールやLINEを使う③ネット検索や各種アプリ操作

11月開催 ①7日、②14日、③28日 同上 ①電話を使う②メールやLINEを使う③ネット検索や各種アプリ操作

1月開催 ①9日、②16日、③30日 同上 ①電話を使う②メールやLINEを使う③ネット検索や各種アプリ操作

※場所はすべて埼玉県障害者交流センターを予定

具体的な計画

活動の名称	実施時期	実施場所	活動の種類	活動の内容
	2024年8月～2025年1月	埼玉県障害者交流センター	イベント	実施回数 12回(3回/コースを4度実施)
				使用スマホ iPhone(機種はSE3)
				講師陣 視覚障害者でiPhoneの操作・指導に卓越した講師3人を招聘
				対象者 埼玉県内在住の初めてiPhoneを使用する視覚障害者
				募集人数 12名(1コース3名)
				他にサポートボランティア3名と当法人ボランティアスタッフが2名参加

4. 申請する活動の効果

<200字程度> 申請する活動の効果

スマホを使いたくても、操作方法を教わるができなかった視覚障害者が、この教室を受講することによって、確実に基本的な操作を習得することができ、操作ができるようになることで、視覚障害者が抱える大きな問題の安全な移動と、活字文書の内容把握を改善する音声ナビアプリや、活字文書をOCRして音声で読み上げてくれるアプリなど、視覚障害者のQOLを向上させる色々なアプリの利活用が可能になります。

<200字程度> 申請する活動の効果を得るために、申請者の特徴や強みをどのように生かすか

当法人は創設直後から、毎月第2土曜日に視覚障碍の当事者などどなたでも参加できる集会を開催しています。参加延べ人数は約500人近く、視覚障碍者の高いニーズがスマホの利活用であることがわかり、このスマホ教室の実施を計画しました。成果に満足するだけでなく、受講者などへのアフターフォローや新たな情報を交換するためにも前記の集会やLINEグループなども利活用し、以降の進展も高めていきます。

<各項目100字程度> SDGsの17の目標に対する活動の効果(最大3個まで記入可)

1	目標名	3 すべての人に健康と福祉を	←17の選択肢から選択する
	効果	スマホ操作の習得が困難なため、利活用をあきらめている視覚障害者がこの教室を受講しスマホが使えるようになることで、障碍特性の情報と移動の困難さを低減、QOLの向上を図り、社会参加が推進される。	
2	目標名	4 質の高い教育をみんなに	←17の選択肢から選択する
	効果	障碍を補完するためにスマホは有用であり、利活用方法を習得する場が必要で、この教室によって、これまで埼玉県にはなかった場が創設され、情報化社会で取り残されていた視覚障害者を置き去りに市内環境ができる。	
3	目標名	8 働きがいも経済成長も	←17の選択肢から選択する
	効果	視覚障害者に対する広範囲な支援を、ニーズに対応して着実に行うためには、そのニーズに対応できる他のNPOなどの団体と協同することも重要であり、今回はそれに対応できる所との協同が図れた。	

5. 活動の継続・発展について

<200字程度> 活動を継続的に行うための課題、活動の継続性を高める方法、活動を発展させるための取組はどのようなものか

活動を継続的に行うためには、講師を担える視覚障碍者の増員と確保が必要だと考えています。活動の継続性を高めるには、初心者のみならず既使用者も対象にした情報交換や相談に対応できる仕組みの構築が必要だと考えています。予算や人員などから、教室の開催数や受講者数を増やしていくことは当面難しいので、活動を発展させるための取組としては動画教材による有料講習なども検討していきたいと考えています。

6. 活動の自立について ※自立促進活動助成に応募する場合のみ

<200字程度> 事業収入により活動の継続性を高める方法や取組はどのようなものか

本年4月1日に施行された障害者差別解消法の改正により、同法規定の「合理的配慮」が民間事業者にも義務化されました。

これにより、これまで視覚障害者に対して、何らスマホの使い方指導を講じていなかったメーカーやキャリア、販売業者に対して指導の要望が高まると予測されます。

このような要望に対応する受け皿として、当法人の活動がその受け皿となり、自立した事業とならないものか取り組んでいきます。

活動収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 アイサイトさいたま

活動名 目が見えない人が言葉と指先で見えない初心者教えるスマホ教室

1.収入の部

536,000 円

項目	予算額(円)	積算・内訳等							
a.助成金交付申請額	500,000	※千円未満切り捨て							
b.自己資金	0								
	0	←自己資金のみ直接金額を入力する							
c.活動実施による収入等	36,000	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
参加費	36,000	1,000	円	×	3	人	×	12	回
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
d.その他	0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

2.支出の部

536,000 円

項目	予算額(円)	積算・内訳等							
a.会場費	0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

b.通信運搬費	0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
c.旅費交通費	24,000	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
法人スタッフ交通費	24,000	2,000	円	×	12	回	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
d.消耗品費	90,000	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
スマホ(아이폰SE3)	90,000	30,000	円	×	3	台	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
e.備品費	0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

